『ファミ・レス～family less～』　作：岩本憲嗣

◆あらすじ

『家族』を描くことに定評のある売れっ子作家・佐倉宏太はある日雑誌のインタビューを受けることになる。インタビュー場所に佐倉が指定したのは近所のファミリーレス　トランであった。

ファミリーレストランの喧騒の中で取材を受ける佐倉。佐倉にとってこの場所は仕事場のようなものであると同時に、自分はもう離婚して失ってしまった“家族”の様々な形と触れ合うことの出来る貴重な場所だった。

この日も取材を受けながら様々な家族を観察する佐倉。

しかし、佐倉のしたある注文が佐倉に予想していなかった驚きを届けるのであった。

■登場人物

　佐倉宏太（さくらこうた・♂・４０歳・小説家）

　河津辻夫（たかつつじお・♂・２８歳・編集者）

　牧田かえで（まきたかえで・♀・１６歳・ファミリーレストランのアルバイト）

○ファミリーレストラン・外観

　　街道沿いに建つ洋風のファミリーレストラン。

○ファミリーレストラン・店内

　　昼食のピークを過ぎた店内はそれほど混み合っておらず、ゆったりとした雰囲気。

　　窓際の席に佐倉宏太（４０）と河津辻夫（２８）が向かい合って座っている。

　　河津、鞄から次々と本を取り出すとテーブルの上に並べる。佐倉はそっけなくメ

　　ニュー表眺めている。

河津　　あの！佐倉先生！後でこれサインいただいてもいいですか！？

佐倉　　え？あぁいいですよ。

　　佐倉が呼び出しボタンを押す。

佐倉　　すみませんね。ファミレスなんかで。

河津　　いえいえ。佐倉先生にインタビューが出来るのならばどこでだって！！

佐倉　　そうですか。いやね、好きなんですよ、ファミレス。

　　牧田かえで（１６）が注文を取りにくる。

かえで　あ、あの、えと、ご注文お決まりでしょうか。

佐倉　　えと……トンカツ和膳と季節の温野菜のセット。河津さんは？

河津　　あぁぁえと……。僕はコーヒーでいいです。

佐倉　　じゃぁそれ。

かえで　かしこまりましたっ！！（小声で）トンカツ、温野菜、コーヒー。トンカツ、温

　　　　野菜、コーヒー。トンカツ、温野菜、コーヒー。

　　　　　かえでが去る。

佐倉　　あ、ちょっと！！

河津　　新人さんですかね？

佐倉　　ですね。見ない顔だ。あぁ～～分からないだろうな……。

河津　　え？何がです？

佐倉　　タバスコですよ。ここ半分職場みたいなもんですから、普段は何も言わないでも

　　　　持って来てくれるんですけどね。

河津　　え？タ、タバスコですか？

佐倉　　ははは、やっぱりそういう顔しますか。トンカツにかけるんです、俺。

河津　　えぇ？タバスコをですか！？その、何ていうか……。

佐倉　　昔は酢もかけてたんですけど、娘からは信じられないだなんだって酷いこと言わ

　　　　れてたもんですよ。

河津　　娘さん？へぇいらっしゃるんですね、やっぱり。

佐倉のＭ　　まぁ。そう、まだあの子が小学生に入りたての頃ですかね。当時は金が全然

　　　　　　なくて、それでも月に一回肉を食うって決めてたんですよ。で、俺が美味そ

　　　　　　うにトンカツにタバスコと酢をかけて食うの見てて、何を思ったかアイツ真

　　　　　　似しやがって。そしたら辛いってビックリして飛び跳ねてですね、もう大騒

　　　　　　ぎ。挙句ストーブに手首ぶつけて火傷して大泣きして……。

　　モノローグに合わせてシーンが展開する。小さな木造のアパート。その一室で１０年

　　前の佐倉とその妻（２７）、娘（6）が大皿に盛られたとんかつをつついている。タバ

　　スコと酢を小皿に盛り、トンカツをそれにつけて食べる佐倉。それをじっと見つめる

　　娘。娘、自分もトンカツをその小皿につけて口に運ぶ。途端に飛び跳ねて狭い部屋の

　　中を走り回る。石油ストーブに手をぶつけてさらに熱いと飛び跳ねる。

河津　　大丈夫だったんですか？

佐倉　　大丈夫じゃないですよ。火傷はしっかり跡になっちゃったし、それ以来タバスコ

　　　　と酢をかける俺は娘から非難轟々。

河津　　へぇ。面白いです。先生のそういう話！！

佐倉　　え？

河津　　僕今日はその辺の話を重点的に伺って行きたいんです。僕思うんですよ！佐倉先

　　　　生といえばあたたかな家族の描写が読者の心を掴んで離さないって。だからこそ

　　　　佐倉先生には家族について詳しくお話を聞きたいんです。質問いいですか。ズバ

　　　　リ家族を描く秘訣とは！？

佐倉　　はははは唐突ですね。秘訣ねぇ……。

河津　　はい！秘訣です！！

佐倉　　そうねぇ……アレですよアレ。

　　佐倉が指をさす。そこには部活帰りの高校生の団体が大盛りのご飯とハンバーグを勢

　　いよくムシャムシャ食べている。食べている傍から店員を呼んで追加注文をしている。

河津　　男子高校生……部活帰りの……どういうことです？

佐倉　　ほら、腹減ってる奴って美味そうに食うでしょ？それと一緒で俺はいい家族ってのにはとんと縁がないから……だからいい家族を上手く書ける……とか。

河津　　そういえば佐倉先生ご家族は……。

佐倉　　おいおい、取材するってのに調べてないんですか？

河津　　す、すみません。取材出来るってだけで舞い上がってしまって。で、ご家族は？

佐倉　　妻も娘ももういない。離婚したんです。もう１０年以上前にね。

河津　　えぇぇぇっ！！そうだったんですか？でもさっき娘さんって……。

佐倉　　だから娘とも１０年以上会ってない。……ははは、長いですよね。きっと向こう

　　　　は俺のことなんて覚えちゃないですよ。ははははは。

河津　　駄目です！よくないですよ！！あんな素敵な家族を描いてらっしゃる佐倉先生が

　　　　ご自身の家庭が上手くいっていないなんて……読者だってそれを知ったらガッカ

　　　　リします！連絡は？せめて連絡をとって……。

佐倉　　ですね。でもとろうにもとれない。逃げられたようなもんですからねぇ。

河津　　え？

佐倉　　仕方ないですよ。１０年前なんて全然食えちゃいなかったんだ。捨てられたって

　　　　何も文句は言えない。

河津　　でも！！

　　河津が大声をあげると別の席から幼児の泣き声が聞こえる。母親の膝に抱かれた子供

　　が大泣きしている。困った様子で必死にあやす母親と父親。

河津　　あああああ。僕が急に大声出したせいですかね……。ど、どうしましょう。

佐倉　　違いますよ。アレはきっと……アレだな。

　　佐倉が子供用の高椅子を指さす。すると子供も泣きながら高椅子を指さす。父親が高

　　椅子を持ってきて子供を座らせる。すると子供は途端に泣き止む。

河津　　おおおお。あのお子様用の椅子が嫌だったってことですか。

佐倉　　あれくらいの子供ってのは変に背伸びしたがるんですよ。

河津　　にしたって良くわかりましたね。

佐倉　　そりゃまぁ、毎日のように来てますから。ファミレスってのは、ほら、色んな家

　　　　庭の食卓の集まる場所なんですよ。

　　佐倉が回りを見渡す。いろいろな家族が食事をとっている。

佐倉のＭ　　静かな食卓。賑やかな食卓。やたら食う食卓。あんまり食わない食卓。ご飯

　　　　　　の食卓。パンの食卓。子供がいる食卓。いない食卓。

　　佐倉のモノローグに合わせてファミレス内の様々な家族のテーブルが描かれる。

　　かえでがヨタヨタしながらコーヒーを運んでくるのが見える。

佐倉　　そういうの見ながらさ、思うことがあるんです。俺なら本当はどんな食卓を作っ

てたのかな……とか。

河津　　なるほど……。うわっ！！

　　かえでが河津の目の前にコーヒーを強く置く。

かえで　すみません！！えと……ご注文はお揃いでしょうか？

佐倉　　ははは。揃ってないよ。トンカツ膳と温野菜。

かえで　あぁ！そうでした！すみません！！

佐倉　　待って！！

　　佐倉、慌てて去ろうとするかえでを呼び止める。

佐倉　　それとタバスコを一つ。

かえで　え？タバスコ……ですか？

佐倉　　そう。かけるの。トンカツに。

かえで　………はい。

河津　　じゃぁ先生、先生だったらどんな食卓を作ってたと思うんですか？

佐倉　　さぁ。

河津　　少なくともタバスコが置いてあって娘さんに馬鹿にされる食卓だと思います。

佐倉　　あのねぇ。

かえで　あの！！

佐倉　　ん？まだいたの？どうしたの？

かえで　タバスコ……だけでいいですか？

佐倉　　え？

かえで　お酢は使いませんか？

　かえで、テーブルに置いてある酢を取ると佐倉の前に差し出す。差し出した腕の長袖

　がめくれて、そこには火傷の後が見える。

河津　　な、なんですか急に……え？これって……。

佐倉　　やけ……。

かえで　使いま……せんか？

佐倉　　は、ははははは、ははははははは。そうだな、使っても……いいのか？

　　かえで、目に涙を浮かべて大きく頷く。

かえで　はい！！

河津　　え？どうしたんですか佐倉先生？

佐倉　　ちょっとな………ははははははは。俺さ………やっぱりこの店好きだ。

　　佐倉がかえでにやさしく微笑みかける。二人のやり取りを次第に混み合ってきたファ

　　ミリーレストランの喧騒がかき消していく。

　　【終】

※ご利用上の注意※

・本脚本はどなたでも無料にてご利用いただけます。

・ご利用に当たっての改変などに制限は設けておりません。皆様のご都合に応じて自由に改変頂いてかまいません。

・本脚本をご利用頂く際は必ず作者（gumba1227@hotmail.com）までご一報頂けますようお願い致します。

・但し、練習での使用などの場合はご連絡の必要はございません。

・連絡が必要かどうかの基準は以下の通りでございます。

　※連絡不要の場合

　　・仲間内で集まっての練習でのご利用。

　　・Skypeなどを介しての第三者の聴取・視聴が出来ない形でのご利用。

　※連絡が必要となる場合

　　・ツイキャスやニコ生など第三者の聴取・視聴が可能な状況下でのご利用。

・連絡を要する形でのご利用の際は、必ず作品名・作者名をどちらかに記載いただけますようお願い致します。

　その他ご不明な点ございましたらお気兼ねなく下記までご連絡下さい。

　gumba1227@hotmail.com（岩本）